

# 令和7年度の主な取組①

## 阿波っ子未来会議の開催



- グループワーク  
こどもたち自身が考える  
県の課題や必要な取組  
についての話し合い等  
を実施



- 阿波っ子未来会議 開催 (R7. 8)  
知事をはじめ、県幹部に対し  
**県への施策提案を実施**

## こども・若者ポータルサイトの開設

- こども・若者の意見表明等の  
場づくりとして、  
**「とくしまこどもステーション」** を構築
- 令和8年4月より本格運用開始



## 官民連携による結婚支援

- 若年層の出会い創出や、結婚・子育ての気運醸成に向け、  
「株式会社ときわ」と**連携協定を締結** (R7. 8)
  - ▶ 本年1月には、結婚式場を会場とした**若者向けイベントを共同開催**
- 「にし阿波の花火大会」と連携した  
**大規模恋活イベント「花火コン」**を開催 (R7. 11)
  - ▶ 若年層を中心に県内外から約150名が参加



# 令和7年度の主な取組②

## 不妊症・不育症に関する支援の充実

- 「**不妊治療(生殖補助医療)**」に係る助成上限額を**拡充** (R7.4~)  
(5万円/回 → 10万円/回)
- 「**不育症治療**」に係る**助成制度を創設** (R7.4~)
- 夫婦がともに受ける  
にんようせい  
「**妊孕性を知るための(不妊)検査**」に係る助成を実施



## 子育て家庭の経済的負担の軽減

- 「0~2歳」保育料無償化の対象拡充 (R7.9~)  
**全市町村**において、国制度の対象外となる**0~2歳の保育料無償化**について、**「第3子以降」から「第1子以降」に拡充**

全国トップレベルの支援を実現!!



- 事業効果の検証  
保育料無償化による事業効果や課題について多角的に調査、検証  
▶ 経済効果として「**県GDP約19億円増**」を試算

## 「共働き・共育て」の推進

- 企業向け奨励金の創設  
男性育休の取得促進をはじめ、男女ともに、仕事と子育てが両立できる職場環境づくりに取り組む**中小企業等への奨励金**を創設
- 経営層向けセミナーの開催  
管理職や人事担当者を対象に、育休制度の運用や、**職場風土改革のためのセミナー**を開催



経済団体等との「共働き・共育て」共同宣言式

# 令和7年度の主な取組③

## ひとり親家庭への支援

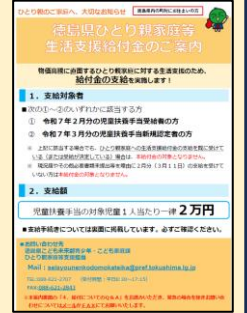
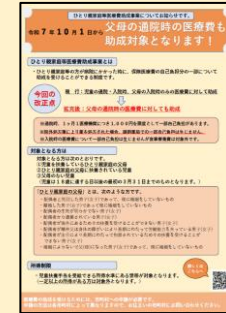
○ひとり親家庭等医療費助成制度の拡充  
ひとり親家庭の

「親の入院費」及び「児童の入院・通院費」が対象（～R7.9）

→ 新たに「親の通院費」も対象として拡充（R7.10～）

○児童扶養手当受給者を対象とした生活支援給付金の実施

（県の児童扶養手当受給者対象）



## 一時保護施設の整備に向けた取組

○施設整備に現場の声を反映させるための「ワーキンググループ」を設置

○「児童相談所あり方検討委員会」を開催し、一時保護施設の「整備方針」をとりまとめ

○新たな一時保護施設の整備に向け、基本計画を策定（R8.3）

<主な方針>

・定員「24人」に倍増

・「ユニット化」による家庭的な環境

・こどものプライバシーに配慮した「個室化」

・安全・安心で利用しやすい施設

## ヤングケアラーへの支援

○市町村、教育、高齢介護及び障がい福祉分野等の関係団体による「連絡会議」を開催

○当事者が気軽に悩みや経験を共有できる場として「オンラインサロン」を開催

○児童生徒の受援力育成と教職員の「気づき」の視点普及を図るため、学校での「出前講座」を実施